

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	11	学校名	各務原高等学校
------	----	-----	---------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	文武両道を実践し、総合的な人間力を培う高校として校訓「開拓者精神（創造・挑戦・協同）」のもと、地域社会と連携・協働した教育活動を通して知・徳・体の調和のとれた人間性を身に付けた、地域の核となる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	(1) 知育・徳育・体育の調和のとれた生徒を育成する。 (2) 基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心があり、知性を備えた生徒を育成する。 (3) 個性豊かで、自己を律するとともに、自他をかけがえのない存在として認識し、協調性のある生徒を育成する。 (4) 心身ともに健康な体の基礎をつくり、生涯健康で健やかな生活が送れる生徒を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・ 基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心や挑戦心をもつ、知性と創造性を備えた生徒 ・ 豊かな個性をもち、自己を律することができるとともに、自らや他者をかけがえのない存在として認識し、協調性や協同性とたくましさを備えた生徒 ・ 自己の在り方生き方を考え、地域社会や国際社会の一員として活躍することができる見識と行動力を備えた生徒	
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・ 学力の向上を図るため、習熟度別や少人数による指導、I C T等を活用した指導など個々に応じた「わかる」授業の実施 ・ 多様な進路志望に応じた、進路希望別クラス編成（特進クラスなど）、国際交流推進、部活動活性化（エキスパートクラブ）、高大連携等を包括したカリキュラムの編成と実施 ・ 多様な価値観、課題解決、コミュニケーションを重視した総合的な探究の時間や生徒会行事、地域の人材資源を有効に活用した地域活動の実施	
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	・ 主体的な探究心と実践への意欲をもち、高い志を掲げて積極的に学習活動に取り組む生徒 ・ 真摯な態度で己を律することができ、思いやりの精神と仲間とともに切磋琢磨できる気概をもった生徒 ・ 地域に愛着をもち、他者と協調し、協働しながら、社会に貢献しようとする意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・ 学習に主体的に取り組む姿勢が十分に身に付いていない生徒に対し、家庭での学習習慣も含めて学習姿勢を身に付けさせていく必要がある。 ・ 人間関係の構築がうまくできない生徒や、他者に不信感をもつ生徒が存在する中で、良好な人間関係作りをするための取組を計画的に行う必要がある。 ・ 将来への展望が不十分なまま受験を迎える生徒に対して、早期に明確な進路意識をもたせるために計画的にキャリア教育を実施し、自ら考え自己表現する力を育成する必要がある。 ・ 自分自身に自信がもてない生徒について、行事や生徒会活動等を通して達成感や自信をもたせ自己肯定感を高めると共に、自主性や協調性を育成することが求められる。 ・ 地域と連携した「総合的な探究の時間」の取組と教科の学習及び進路指導との効果的な融合を図る必要がある。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	学力の向上 【学習に対する意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育成する。】	
	生徒指導	人間性の向上【秩序ある教育環境をつくり、他者の考えを尊重しつつ、自ら考え行動する自律の精神を養う。】	
	特別活動	体力の向上 【心身の調和的発達を図る基礎作りを充実する。】	
	学校経営	働き方改革の推進	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、主体的・対話的で深い学びを実現するための教科指導となるよう、授業改善・校内研修を組織的・計画的に推進する。	施策Ⅱ-8	①授業改善に向け、授業評価、授業研究・校内研修が効果的に行われたか。 ②主体的・対話的で深い学びを展開することで、生徒の生きる力を向上させることができたか。 ③地域の産業界や関係機関等と連携し、地域課題を発見・解決する学習を促進することができたか。				
	科学への探究心と論理的思考力を育成するとともに、社会感覚やコミュニケーションへの意識を向上させる。	施策Ⅱ-10					
	各教科で読む力、書く力、聞く力、話す力を統合的に高める教育を行い、実践的なコミュニケーション能力を高める。	施策Ⅱ-11					
	「ふるさと教育」に積極的に取り組む。地域資源を活用し、地域との交流を深め、地域課題を発見・解決する学習を推進する。	施策Ⅱ-13					
生徒指導	あらゆる機会を通して、自他の生命・人格を尊重し、危険を未然に防ぐ能力を育てる。	施策Ⅰ-2	①生徒が自他の生命や人格を尊重できるようになり、学校生活やいじめ・人間関係のトラブルの状況が改善されたか。 ②落ちついた雰囲気の中で学習ができるよう、学習環境を整備する。 ③全職員で「挨拶、身だしなみ・遅刻防止指導、清掃」に取り組む、生徒の規範意識を向上させる。				
	すべての教育活動において主権者教育・消費者教育を推進する。	施策Ⅱ-12					
	落ちついた雰囲気の中で学習ができるよう、学習環境を整備する。	施策Ⅲ-19					
	全職員で「挨拶、身だしなみ・遅刻防止指導、清掃」に取り組む、生徒の規範意識を向上させる。	施策Ⅰ-1					
特別活動	新生祭等の学校行事を生徒主体で運営し、自主性・自立性・協調性を養う。	施策Ⅳ-20	①生徒が主体的に関わる学校行事を実施し、達成感を存分に味わわせるとともに、自主性や協調性を養うことができたか。 ②生徒のニーズや願いを大切にし、各部の状況に応じた部活動を実施し、生徒の主体性や協調性を育むことができたか。				
	心身とも健康な体づくりを行い、たくましさ、自己管理能力の育成を図る。	施策Ⅲ-16					
	生徒のニーズや願いを大切にした部活動を実施し、活動を通して主体性や協調性を育む。	施策Ⅳ-25					
学校経営	長時間勤務と多忙化の解消に向け、業務内容の不断の見直しを行う。	施策Ⅳ-27	①業務内容を精選することで、学校の抱える仕事を軽減することができたか。 ②長時間勤務をする職員または全体の時間外在校時間が減少したか。 ③ハラスメントやメンタル不調の職員に対して迅速に配慮した対応ができたか。				
	ハラスメントとメンタル不調を速やかに察知し、解決を図る。	施策Ⅳ-28					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日

--	--